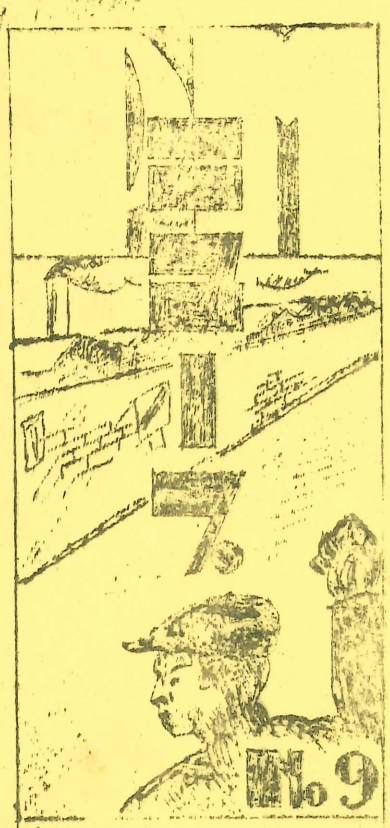

No.9
市外音楽家同盟発行
日本プロレタリア
上落合460

後へ一歩も退くな！
一層強固に仕事を進めろ！

会員諸君、研究生諸君！

吾々は本八号の二ヶ年を積極的攻勢の進めて来たのだ。そして真の音楽会は豊饒の都合上期日を延期した。三月二十九日（日）晝夜二回開く予定だ。

第二回 綜合技術批判會

第二回綜合技術批判會は二月拾八日（土）總會の後で午后七時から開かれた。他の同盟の諸君も沢山招いてあったが會場を多くに制限したいために他から一名も参會されなかったのは残念であった。

當日は第一回よりもなほ一層熱演だった。

1、絃樂四重奏　器樂班

2、獨唱「ワルシャワンカ」　峯　弘子

3、合唱「インターナショナル」（大井も加わる筈）

4、合唱「ロシア讃歌」　新島晴子

5、合唱「東亜にやられたあかい」　南　圭子

6、ヴァオリン獨奏「ガイザー」　谷　孝子

7、獨唱「揚がよ讃え」　中野秀三

8、合唱「ワルシャワンカ」　北斗瀧夫

9、合唱「マルセーズ」　西脇　基

10、ピアノ獨奏「ポルニー30」　中野秀三

11、獨唱「モントレー」　西村英気

12、セロ獨唱「ソナタ」　福田上一

13、獨唱「ロシア讃歌」　原　太郎

14、合唱「おれは鍛治屋」　中野秀三

15、合唱「ドゥビストゥルー」　増田得三

16、ハーモニカ獨奏「メーデー歌」「ウォリアルネール」　北斗瀧夫

17、獨唱「水夫のうた」「勇者」　山本正夫

千圓綜合技術批判會

同盟員として總會の席で各場一致可決された原太郎氏も招かれます。合唱独唱と作曲発表とで元気な仕事ぶりを見せる。

今迄数ヶ月の公開出演の場合かれこれ如何ほどだけ活躍出来たかを見やう。プロキノ公開、劇場小公演、ナップ講演会、等々最近だけでもこんなに数が禁止されもするのだ。他の芸術よりも一番大きな影響を動かすものだ。ではこの事はどうしたら解決されるか？　それはP.Mの拡大強化と同時に吾々の一人一人がもっともっと勇敢に積極的攻勢の中へ持ち込む事に依って解決つけられるのだ。であるから如何なる暴圧にも抗してもっともっと強固に吾々の仕事を進めて行かなければならないのだ。

18. ヴォオリン獨奏「ブルニドライ」 西脇 基
19. 獨唱「二人のテキ躑躅」「我夢に泣きぬ」 露木次男.

全般的に一回から見て技術の向上してゐる所は明らかな事る。特にゼスチュアをつけられたものが見えないのと熟があってそれを表現するだけの技術を持ってゐないために充分に発表できない者とが目に附いた様だ。

今後の研究に依って解決して行くであらうが、批判会の持ち方についてはもっと考へられるべきだ。決してブルヂョア学校の試験ではないのだから此れ此れの側からかうのとして批判されなければならない。もっと各人が敏感になる事だ。

作曲班・合唱班・器樂班の 歩み一束

来るべき音樂会のために合唱班で選ばれた四つの外国の労働歌と一つの日本で作られたものに詩人に詩を作ってつけた曲がある。其の他新に作曲班で習査された曲は

"毛虫"(合唱曲)—詩、横木、曲、露木。"蛙"(合唱曲)—詩、森山、曲、鈴木。"コムソモルカ"(男女混声独唱曲)—曲、露木。"鉱山"(童謡)—曲、露木。"鉱夫"(童謡)—曲、山本。

歌へる詩に就いて詩人との共同研究会を持つ事になってゐるが"この研究会がうたへる詩に就いて判りした成果をあげる事によって作曲の仕事もより一層活潑にそうて来るだらう。

レコード吹込が計画されてゐるが二月の初に共益本店へ行ってホノマトンで吹込をやった、曲は憎しみのうつばし一番と五番を三板吹込んだ。速座に曲まで持ちまわり自在と言い簡単に吹込めた。

防衛戦旗 5000円基金募集に応じろ!

満州事変前後の日常生活の正しい友人でありホントの事を書ける演劇地主階級の憎むべきサギ・マニヤぶりも暴露、勿論農民を斗争へと激励してゐる戦旗は今五〇〇円基金募集カムパをやってゐるぞ。

戦旗発禁押収絶対反対!

書記局ヨリ

★再三再四言ってもまだ同盟費研究費其の他の集りが悪いやうではどうしたんだ。

書記局では毎月一度は財政が苦しくなって二通も三通も出さなくなる練習所の実代も納められる様に有様だ。身におぼえのある奴は直ちに納める!

★集合の時間を守らない奴がゐる、無断欠席をするものもゐる。合唱練習には出欠表を作ってその出席率を調査してゐる。

★念のために練習時間表を記しておく。

月、一千后六時、合唱練習、
八時、作曲講義、
水、一千后六時、合唱練習、
七時、ゼスチュア研究、
土、一千后七時、絃楽練習、
日、一千后六時、合唱練習、
八時、ハーモニー練習、

★財政確立のためにカンパ刷りのうたを売る。(イタダキヨナル、コミニストのマルセイズ、)一部五銭。

詰め! 科関紙"ナップ" 誌代を即時完納しろ!

其他沢山ある、希望者は書記局へ申し込め!